

令和3年7月13日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国
葦山営農センター

第2回 (7/14号)

水稻病虫害発生予察の結果について

①生育状況

生育状況につきまして、どの地区も概ね良好です。葦山地区は分けつ15～18本前後、江間地区は葦山と同程度です。天野地区、大仁の白山堂では分けつ数が21～23本前後であるため、中干し適期になっております。山間地につき、小坂地区、神島地区で中干しに入っている圃場も見られました。

②病虫害状況

今回の予察では、各地区でセジロウンカ・ツマグロヨコバイの成虫・幼虫が見られました。先週と比べ害虫発生数が増えており、発生数の拡大が懸念されます。現状は防除の必要な発生数ではありませんが、今後の発生数の動向に注意してください。また、ジャンボタニシの発生が見られた圃場では、薬剤散布による防除や捕殺をしましょう。

○スクミノン粒剤 (殺虫剤) 1～4kg/10a 2,970円/1袋 (2kg)

※湛水状態で散布。散布後7日は落水しない。

セジロウンカ (成虫)



ツマグロヨコバイ (成虫)



③その他

ケイ酸カリの施用時期にかかる圃場があります。下記の施用基準を参考に施肥を検討して下さい。ケイ酸カリは倒伏防止や食味向上の効果が期待できます。

○ケイ酸カリ 20～40kg/10a 2,390円/1袋 (20kg)

※出穂35～45日前が効果的。(中干しの1週間前が目安。)

栽培管理や除草剤の対策をまとめた「水稻栽培資料」を各センターで配布しております。

問い合わせ：葦山営農センター 西島・田中 055-949-0055

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。